

平成 27 年度 施策評価シート

	作成日	H28.11.30
基本姿勢	1	安心で魅力ある「定住のしま」 ～ 分野3 人をつくり、地域を守るまちづくり ～
政 策	4	ともにつながる参加と協働のまちづくり
基本方針	地域の課題に対応するため町民と行政が一体となった協働のまちづくりを進めます。また、自治会活動やボランティア活動などのコミュニティ活動を支援し、特色ある地域づくりを推進します。	

基本施策	1-3-4-①	協働のまちづくりの推進	
主管課名	総合政策課	所属長名	小 柳 哲 也
関係課名	建設課		
1 次評価	基本施策の評価		
	<p>○地域課題に対応した「新上五島町協働のまちづくり計画」にするための見直し、行政だけでなく、住民一人ひとりや学校・事業所など気軽にまちづくりに参加できる協働の体制づくり</p> <p>■平成27年度の取組概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 出前講座の周知や地域活動支援事業補助金の周知など、地域の要望や課題解決に向け取り組んでいる。 ・ 出前講座のH27年度実績：開催回数34回、参加者599名、講座メニュー数71講座 <p>■評価（問題点とその要因）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 今後ますます少子高齢化が進行していく中、集落の維持活性化に向けて、何が一番必要とされ何が一番求められているのかなど、その地域、その集落の実情を把握し、それに応じた支援や協働体制づくりが課題である。 <p>■今後の取組方針</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 今後も出前講座の周知や地域活動支援事業補助金の周知など、地域の要望や課題解決に向け取り組んでいく。 ・ 現在取り組んでいる、高校生とのワークショップの開催などを継続させ、そこに地域を巻き込んでいくような取り組みを支援していく。 		
	<p>○まちづくり推進団体登録の推進、地域との連携体制の構築</p> <p>■平成27年度の取組概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域活動支援事業補助金を活用し、まちづくり推進団体が主体となって地域との協働により青少年育成事業や地域の活性化（イベント開催）などの取り組みが実施されている。 ・ まちづくり推進団体活動実績：5団体、H27年度末まちづくり推進団体登録数：15団体 <p>■評価（問題点とその要因）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ まちづくり推進団体の登録数の増加が見込めない現状にあり、単なるイベント開催の団体になりつつある。地域とまちづくり団体が協力連携していく新たな取り組みが必要であり課題である。 <p>■今後の取組方針</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ まちづくり推進団体の登録に向けての相談等がっており、登録に向け支援していく。 		
	<p>○住民のニーズに応じたまちづくり活動及び住民主体の特色あるまちづくり活動の支援</p> <p>■平成27年度の取組概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域からの相談や要望について適切に対応するとともに、地域活動支援事業補助金等を通じて地域のまちづくり活動を支援している。 ・ 地域からの要望等事項受付件数：H27実績 149件（うち対応件数 60件、40.3%） <p>■評価（問題点とその要因）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 今後ますます少子高齢化が進行していく中、集落の維持活性化に向けて、何が一番必要とされ何が一番求められているのかなど、その地域、その集落の実情を把握し、それに応じた支援や協働体制づくりが課題である。 ・ 住民主体のまちづくりを進めることが特色あるまちづくりに繋がっていくものと思われるが、持続する地域の取り組みが必要であり、地域のリーダーとなる人材の確保が課題である。 <p>■今後の取組方針</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 今後、集落を維持活性化していくためには集落間の連携協力が必要であり、地域活動支援事業を活用した広域的な取り組みについて支援していく。 ・ 集落支援員の配置など検討していく。 		

2次評価	1次評価のとおりとする。人口減少対策においても、快適で暮らしやすいまちづくりの創出に向け、地域の特性に即した地域課題の解決と活性化に取り組むとしていることから、まちづくり推進団体を含め、地域と協働しながら「ふるさとづくり」の充実に努めていくこと。		
基本施策	1-3-4-②	コミュニティ活動の推進	
主管課名	総合政策課	所属長名	小柳 哲也
関係課名			
1次評価	基本施策の評価		
	<p>○地域コミュニティと連携した「自分たちのまちは自分たちでつくる」という意識醸成、地域コミュニティ活動への積極的な参加促進</p> <p>■平成27年度の実績概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域住民の協働により自主的に行う地域の連携と協調などの地域づくり自主活動事業を支援している。 ・地域コミュニティ自治活動件数：H27年度実績 22地区 <p>■評価（問題点とその要因）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢化と人口減少が進行する中、地域コミュニティに対する意識醸成や活動への参加の促進は、重要なことと認識しているが、どのようにして住民の意欲、意識を向上させていくか非常に難しいのが現状である。 <p>■今後の取組方針</p> <ul style="list-style-type: none"> ・集落を維持していくためにも地域コミュニティの活性化が必要であり、今後も地域の実情や要望等を聞きながら対応していく。 ・集落支援員の配置など検討していく。 		
	<p>○地域支援活動事業補助金を活用した地域コミュニティへの支援、地域活性化グループ、NPO、ボランティア団体、まちおこし団体などの支援</p> <p>■平成27年度の実績概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域活動支援事業補助金のH27年度活用実績 <ul style="list-style-type: none"> 自治施設整備事業：27地区 3,296千円（集会所改修、放送設備の維持補修等） 地域整備事業：9地区 3,797千円（墓地道等補修、公園整備、法面保護） 自治活動事業：22地区 1,702千円（夏祭り、花火大会、花いっぱい運動、校区交流イベント） まちづくり推進団体活動事業：5団体 491千円（交流イベント、夏祭り等） 地域づくり協議会事業：1協議会 706千円（運営費、交流イベント、地域環境整備等） <p>■評価（問題点とその要因）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・少子高齢化等の影響により地域の実情や地域の負担軽減、特に小規模集落（20世帯以下）の負担軽減を図っていく必要がある。 ・近年の地域の防災意識の高まりなどに対応する支援制度の拡充が必要である。 <p>■今後の取組方針</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小規模集落の負担軽減や地域の防災意識の高まりに対応するため、地域活動支援事業補助金の見直し、拡充を図っていく。 		
<p>○研修会・講演会の開催やまちづくり出前講座制度の啓発活動、地域リーダーの育成</p> <p>■平成27年度の実績概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出前講座の周知や地域活動支援事業補助金の周知など、地域の要望や課題解決に向け取り組んでいる。 ・出前講座のH27年度実績：開催回数34回、参加者599名、講座メニュー数71講座 <p>■評価（問題点とその要因）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出前講座の周知や地域活動支援事業補助金の周知など、今後も地域の要望や課題解決に向け取り組んでいくものとするが、地域リーダーの育成など人材の確保が課題である。 <p>■今後の取組方針</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後も出前講座の周知や地域活動支援事業補助金の周知など、地域の要望や課題解決に向け取り組んでいく。 			

	<p>○継続的な地域活動を行っていくための、地域担当職員の配置のあり方の検討、協働推進員の研修</p> <p>■平成27年度の実施概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域づくり協議会を設立している「津和崎・米山地区」へ地域担当職員として3名配置している。 ・また、職員一人ひとりの意識改革を図り、町民及び団体等との協働を推進するため、協働推進員として各課から2名、合計54名を配置している。 <p>■評価（問題点とその要因）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域担当職員及び協働推進員のあり方については、集落対策の一つとして重要であると考えているが、町全体の組織（人事）として取り組むことが必要である。 <p>■今後の実施方針</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域担当職員及び協働推進員のあり方については、集落対策の一つとして重要であると考えており、そのあり方について検討していく。
	<p>○伝統文化や伝統芸能の継承を図るための後継者育成や確保、保存会同士の連携による広域的な取り組み推進</p> <p>■平成27年度の実施概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティ助成事業補助金を活用し、地域伝統芸能備品整備事業（有川神楽保存会）に対し支援を行った。 <p>■評価（問題点とその要因）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後もコミュニティ助成事業補助金を活用して地域伝統芸能の継承に向けて取り組んでいくが、後継者の育成、確保についてが課題である。 <p>■今後の実施方針</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後もコミュニティ助成事業補助金を活用して地域伝統芸能の継承に向けて取り組んでいく。 ・移住対策との連携を図りながら後継者育成や確保に取り組んでいく。
2次評価	<p>1次評価のとおりとする。集落を維持していくために、各地域のリーダーは精力的に活動しているが、高齢化等により維持することが困難となってくることが予想されるため、地域担当職員及び協働推進員のあり方について、地域の実情や要望を集約し、更に検討していくこと。</p>

成果指標等の達成状況

指標名		基準値	H27	H28	H29	H30	H31
まちづくり推進団体登録数	目標	-	-	-	-	-	27団体
	実績	11団体	15団体	-	-	-	-
	達成率	-	25.0% (100%)	-	-	-	-
地域コミュニティ活動件数(ソフト事業)	目標	-	-	-	-	-	30事業
	実績	11事業	22事業	-	-	-	-
	達成率	-	57.9% (100%)	-	-	-	-

施策事業の進捗状況

1-3-4-① 協働のまちづくりの推進

No.	事業名・担当課・事業目的・概要	区分	平成27年度	平成28年度	
1	<p>(事業名) 愛護団体推進活動事業</p> <p>【建設課】</p> <p>(事業目的) 町が管理する施設に対する団体の自発的な清掃・美化活動を町が支援することにより、各地区における団体活動の推進と活性化を図る。</p> <p>(事業概要) 清掃・美化活動に取り組む意思がある概ね5人以上で構成される団体を登録し、道路、河川、漁港、公園における清掃・美化の推進を図る。</p>	実施年度	平成18年度～		
		成果指標	延べ活動人数		
		目標値	4,303人		
		実績値	5,811人		
		達成率	135%		
		決算(見込)額	988千円		
		当該年度執行率	96%		
		成果指標及び目標値の説明	昨年度活動した愛護団体の延べ人数を目標値としている。		
		取組実績、成果・課題等	<p>(取組実績)</p> <p>登録団体は93団体(5,277人)と昨年度より9団体(471人)増加し、延べ57団体(146日)の活動があった。</p> <p>(成果・課題等)</p> <p>愛護活動を行う地域住民が増加し、愛護に対する気運の醸成が図られた。愛護活動の普及拡大を図るため引き続き、美化活動への参加啓発を実施していく。</p>	<p>(取組実績)</p> <p>(成果・課題等)</p>	

1-3-4-① 協働のまちづくりの推進（つづき）

No.	事業名・担当課・事業目的・概要	区分	平成27年度	平成28年度
2	<p>(事業名) 地域イベント活性化補助事業 【総合政策課】</p> <p>(事業目的) ○各地区のイベント開催団体が地域と連携、協力しながら地域の活性化に繋がるイベントを開催し、住民相互のふれあいを深めるとともに、地域のにぎわいを創出し活性化を図ることを目的とする。</p> <p>(事業概要) ○各地区のイベント開催団体が地域と連携、協力しながら地域の活性化に繋がるイベント経費についての助成（補助率：1/2以内） ○商工観光振興奨励事業費補助金交付要綱</p>	実施年度	平成17年度～	
		成果指標	①まちづくり推進団体登録数 ②地域コミュニティ活動件数（ソフト事業）	
		目標値	① 27団体 ② 30事業	
		実績値	① 15団体 ② 22事業	
		達成率	① 55.6% ② 73.3%	
		決算（見込）額	① 4,697千円 ② 9,992千円	
		当該年度執行率	①・② 100%	
		成果指標及び目標値の説明	○まちづくり推進団体登録数は、広域的な取り組みを推進するため、小学校区（18校区）ごとに1団体を目標として設定 ○地域コミュニティ活動件数は、各地区のソフト事業を推進するため、各年度2事業以上増加を目標に設定	
		取組実績、成果・課題等	<p>(取組実績)</p> <p>○平成27年度実績 ・5団体、4,697,000円 ・ざあ～まによか夏上五島、 ・ありかわ縁日、 ・奈良尾夜市と花火大会、 ・サマフェスティバルinわかまつ、 ・どてらい市</p> <p>(成果・課題等)</p> <p>【成果】 ○各地区のイベント開催団体が地域と連携、協力しながら地域の活性化に繋がるイベント経費について助成を行うことにより、地域のにぎわいの創出が図られている。 ○来場者数 全体 12,500人、 ○経済効果 全体 約15,000千円</p> <p>【課題】 ○イベント開催団体が固定化されていることから、助成制度の趣旨や周知を図りながら地域間が連携したイベント等を実施する必要がある。 ○本助成制度の趣旨を明確にし広く各団体（実行委員会等）に周知するため、新たに補助金要綱の制定を行う。</p>	<p>(取組実績)</p> <p>(成果・課題等)</p>

1-3-4-② コミュニティ活動の推進

No.	事業名・担当課・事業目的・概要	区分	平成27年度	平成28年度
1	(事業名) 地域活動支援事業 【総合政策課】 (事業目的) ○町民による自主的な地域づくり活動に対し支援を行い、協働のまちづくりを推進するとともに、自治活動の促進、地域活性化を図ることを目的とする。 (事業概要) ○各地域が集会や研修を行う施設整備に対する経費や地域住民が自主的に進めるコミュニティ活動事業に要する経費に対する補助 ○地域自治活動、地域づくり協議会活動、まちづくり推進団体活動への支援 ○新上五島町地域活動支援事業補助金交付要綱	実施年度	平成17年度～	
		成果指標	①まちづくり推進団体登録数 ②地域コミュニティ活動件数（ソフト事業）	
		目標値	① 27団体	
			② 30事業	
		実績値	① 15団体	
			② 22事業	
		達成率	① 55.6%	
			② 73.3%	
		決算（見込）額	① 4,697千円	
			② 9,992千円	
当該年度執行率	①・② 100%			
成果指標及び目標値の説明	○まちづくり推進団体登録数は、広域的な取り組みを推進するため、小学校区（18校区）ごとに1団体を目標として設定 ○地域コミュニティ活動件数は、各地区のソフト事業を推進するため、各年度2事業以上増加を目標に設定			
取組実績、成果・課題等	(取組実績) ○H27年度補助金交付実績 ・自治施設整備事業 27地区 3,296千円 ・地域整備事業 9地区 3,797千円 ・自治活動事業 22地区 1,702千円 ・まちづくり推進団体活動事業 5団体 491千円 ・地域づくり協議会事業 1協議会 706千円 (成果・課題等) 【成果】 ○地域の活動件数が前年度と比較して、13地区 1,267千円増加し、地域の自治活動の促進が図られている。 ○特にソフト事業である自治活動が3地区の増、まちづくり推進団体活動1団体の増となっており地域間交流を目的とする複数の自治会での連携事業も増加傾向にある。 【課題】 ○少子高齢化等の影響により地域の実情や地域の負担軽減、特に小規模集落（20世帯以下）の負担軽減を図っていく必要がある。 ○近年の地域の防災意識の高まりなどに対応する支援制度の見直し・拡充が必要である。	(取組実績) (成果・課題等)		